

# へき地におけるデジタル技術を活用した医療提供体制の充実について

★：国庫補助等を活用することにより積極的に推進する事業

| 区分               | 令和4年度第1回協議会  |  | ニーズ等調査結果（令和4年11月9日～令和5年1月18日）   |   | 令和4年度第2回協議会  | 令和5年度の実取   | 令和6年度の計画   |   |
|------------------|--------------|--|---|---|--|--|--|---|
|                  | 主な意見         |  | 新たなデジタル技術活用の可能性   | 活用推進上の課題  | デジタル技術の活用推進の方向性  |  |  |   |
| 情報化              | 電子カルテ情報の共有   |  | 診療支援の一環として、関係者間の十分な協議と長期計画の下で導入推進。  | ・山間地域、島しょ地域ともにニーズ有り   | ・サイバーセキュリティ対策<br>・ICTの専門的知識を持った人材の不足                                 | ★医療情報連携ネットワークを活用した電子カルテ参照による情報の共有化を推進                      | ・電子カルテ参照の実現に向け広尾病院と意見交換を実施   | ・電子カルテ参照の実現に向け広尾病院や関係機関と協議  |
|                  | 空路急患搬送時の情報共有 |  | —   | ・画像電送システムが設置されていない都立病院への救急患者搬送時の対応、患者情報の共有手段                                    | ・飛行中の機体内での通信機器の利用制限  | ・医療用コミュニケーションツールを活用し、救急搬送時の関係者間の情報共有を図る                    | ・コミュニケーションアプリを導入、運用開始（R6.3）<br>導入先：島しょ医療機関、都立病院（広尾・多摩総・小児総・墨東）                 | ・コミュニケーションアプリを本格運用  |
| 遠隔医療             | 医療従事者間       | D to D   | ・専門的なコンサルテーションとしての遠隔医療は有効。<br>・支援する側の負担感にも考慮する必要がある。                                  | ・画像電送システムによる診療支援の継続   | ・支援する側の業務負担に対する評価<br>・緊急性の低い読影の増加への対応                                | ・放射線画像診断専門医による遠隔読影体制の強化策を検討<br>・撮影方法の研修等の実施を検討             | ・画像電送システムによる診療支援に係る人件費の補助を開始（へき地医療拠点病院運営費補助）                                   | ・画像電送システムによる診療支援に係る人件費の補助を継続（へき地医療拠点病院運営費補助）<br>・画像電送システムの次期更新（R7）に向けた協議を開始 |
|                  | 医療従事者と患者間    | D to P with D or N                             | ・予定された専門医が悪天候で来られない場合などに大変有効。<br>・遠隔医療のスキルが必要。お互いの理解やトレーニングが必須。<br>・診療の片手間でできるものではない。 | ・天候理由等による専門診療中止時の、代替手段としてのオンライン診療<br>・ビデオ通話等を用いて実施する遠隔連携診療（整形外科）<br>・遠隔透析モニタリング | ・診療責任の所在及び支援する側の経費負担   | ★専門性の高い診療科について遠隔診療の検討<br>★ビデオ通話等を用いて実施する遠隔連携診療の実施検討（モデル実施） | ・へき地専門医療確保事業に「遠隔連携診療」の導入を検討<br>・web会議システムを利用した遠隔連携診療の試行を2回実施（広尾病院整形外科・神津島診療所間） | ・へき地専門医療確保事業に「遠隔連携診療」を導入（補助の拡充）<br>・広尾病院整形外科と神津島診療所間で遠隔連携診療を実施              |
|                  |              | D to P   | ・直接診てもらいたい患者の希望は大きいため、慎重に検討すべき。<br>・患者にとって移動の負担が大きい場合もあり、診療科によっては活用の可能性有。             | —   | ・患者のプライバシーや急変時の安全を確保できるブース等の改築、設置                                    | ・課題整理・検討   | ・課題整理・検討   | ・課題整理・検討  |
|                  |              | オンライン服薬指導等                                     | —   | ・人材不足対策として、オンライン服薬指導・栄養指導等の活用   | —  | ・オンライン服薬指導やオンライン栄養指導等の活用に向け、協力薬局等を開拓                       | ・保健医療局健康安全部薬務課と協力薬局の開拓に向け意見交換を実施   | ・保健医療局健康安全部薬務課と協力薬局の開拓に向け協議   |
| 遠隔カンファレンス        |              | —  | ・島内の多職種（訪問看護・介護事業者）とのネットワーク連携推進、PHR（パーソナルヘルスレコード）の活用<br>・住民向け公開講座の配信                  | —   | ・退院カンファレンスの実施等<br>・多職種連携コミュニケーションツールの活用可能性を検討<br>・住民向け公開講座のライブ配信等を検討 | ・web会議システムを利用した退院カンファレンスの実施（広尾病院）                          | ・web会議システムを利用した退院カンファレンスの実施（広尾病院）  |   |
| 第5世代移動通信システム（5G） |              | 5Gを使った動画がリアルと同じように見られるのであれば、救急診療や専門診療等にかなり役立つ。 | ・高精細な動画やコミュニケーションツールを活用して行う遠隔診療支援（循環器、脳神経外科等）   | ・移動系通信については通信困難地域が散在（島しょ）   | ・各島での5Gの整備状況や先行導入例を踏まえて検討  | ・広尾病院循環器科と八丈病院との間で遠隔診療支援を実施                                | ・広尾病院と八丈病院との間で遠隔診療支援を実施  |   |